

2020年9月1日



株式会社 白石

代表取締役社長 白石武之

<https://shiraishi-okinawa.jp/>

『光触媒工業会』正会員登録



株式会社白石（本社：沖縄県那覇市西 代表取締役社長 白石武之）は、光触媒技術の認知拡大及び普及に努めた事が認められ、2020年9月1日付けで「光触媒工業会」正会員に登録されました。

1. 光触媒工業会とは

酸化チタン光触媒は、防汚、防曇、抗菌、空気浄化、水浄化など多方面の用途で注目を集め、大学、各種研究機関及び民間企業で活発な研究開発が行われています。またその技術を応用した製品も、生活、建築、土木の各分野に投入され始め、将来の大幅な市場拡大が予測され、また期待されています。

しかし一方では、光触媒材料及びそれを応用した製品に関し、品質・性能の一層の向上と標準化が求められております。

このような背景のもと、光触媒材料および製品を製造・販売する多方面の民間企業の参画を募り、生活、建築、土木分野での光触媒製品のユーザー企業および関係省庁・機関の賛同参画を得て使用者の意見、要望を反映した市場の問題を正確に捉え、光機能材料研究会等の協力を得ながら、上記問題解決の為の諸活動を行い、光触媒製品の健全な市場形成と普及をめざし、この工業会を設立するものです。

* 光触媒工業会 WEB サイト参照 <https://www.piaj.gr.jp/roller/>

* 当社の正会員確認ページ <https://www.piaj.gr.jp/member/memberList.html>



光触媒工業会

Photocatalysis Industry Association of Japan

光触媒工業会のロゴマークは、水をイメージしたブルーからグリーンに変化する波紋に、太陽の光をイメージしたアクセントカラー・イエローオレンジを配して、光触媒作用と環境の浄化を表現したものです。

2. PIAJマークとは



登録: 20 × × - × × × ×

セルフ クリーニング	UV
空気浄化 アセトアルデヒド	UV
抗菌	可視光
抗ウイルス	可視光

光触媒工業会が、性能、利用方法等が適切であることを認めた光触媒製品に与える認証マークです。当工業会では光触媒性能を測る物差しとして JIS 試験方法を採用し、多角的な実証、考察を加え一定の性能基準を設けました。更に、この性能基準に対して消費者、行政からもご意見を頂き、これらも踏まえた基準に制定致しました。PIAJ マークはこのようにして定められた性能基準を満足した光触媒製品に与えられるものです。現在は日本国内で製品化した製品に与えられますが、将来的にはアジア、そして全世界でも通用するマークにしていきたいと考えています。

なお、PIAJ 認証マークは光触媒の発現する性能と安全性を認めた証であり、光触媒以外の性能や安全性を保証するものではありません。

3. 当社は、ナガムネコーポレーションの沖縄販売代理店

ハンノウコート

1度のコーティング施工でその効果は3年間持続します


- ・お部屋、オフィス全体を抗菌
- ・あらゆる場所で感染症予防
- ・しっかり施工で効果持続

Hannou Coat
抗菌・消臭・感染症予防
ハンノウコート

●570光触媒®

当社は、ナガムネコーポレーションの販売代理店として、光触媒工業会 P I A J マークを取得した正規品を販売及び施工を行っています。

PIAJマーク取得製品

商品名	ハンノウコート DC	ハンノウコート FB	ハンノウコート BP-SMA	ハンノウコート CR-50K	ハンノウコート BP	
PIAJ マーク						
光触媒の種類	酸化チタン					
光触媒の加工部位	・空気浄化：アセトアルデヒド、トルエン/内装材（塩ビ壁紙） ・抗菌/内装材（ガラス、タイル）	・空気浄化：アセトアルデヒド、トルエン/内装材（塩ビ壁紙）	外装表面（ガラス、タイル）	外装表面（ガラス、タイル）	外装表面（セルフ：ガラス、タイル、空気浄化（窒素酸化物）：コンクリート）	
光触媒のセルフクリーニング効果 UV ^{*1}	限界接触角	-	-	11.4°	17.4°	11.4°
	分解活性指数	-	-	基準値以上 (9.9nmol/L/min)	基準値以上 (6.0nmol/L/min)	基準値以上 (9.9nmol/L/min)
光触媒の空気浄化効果 UV	アセトアルデヒド除去量 ^{*2}	基準値以上 (4.96 μ mol/h)	基準値以上 (3.47 μ mol/h)	-	-	-
	トルエン除去量 ^{*3}	基準値以上 (0.45 μ mol/h)	基準値以上 (0.24 μ mol/h)	-	-	-
	窒素酸化物除去量 ^{*4}	-	-	基準値以上 (2.45 μ mol/h)	-	基準値以上 (11.36 μ mol/h)
光触媒の抗菌効果 UV ^{*5}	大腸菌	抗菌活性値は 4.4 光照射による効果は 4.3	-	-	-	-
	黄色ブドウ球菌	抗菌活性値は 3.1 光照射による効果は 3.5	-	-	-	-
使用できる場所	昼間に太陽光が入る窓際	窓から太陽光が入ってくる住宅・建造物の室内	屋外	屋外	屋外	
安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激性、変異原性について、光触媒工業会の安全基準を満足していることを確認しています。					
使用上の注意	表面に過度の汚れが付着していると、十分な効果が得られませんので、定期的な洗浄をお勧めします。また、空気浄化の場合、実際の効果は本製品が使用される面積、本製品に照射される紫外線の強さ、使用される部屋の面積、使用される部屋の換気量に依存します。また、実環境での窒素酸化物除去量は施工面積や紫外線の強さにも依存します。					

^{*1} 光触媒工業会の認証基準は限界接触角が 30° 以下であり、小さいほど性能が高い事を表します。分解活性指数の認証基準は 5 以上であり、大きいほど性能が高いことを表します。^{*2} 光触媒工業会の認証基準はアセトアルデヒド除去量 0.17 μ mol/h 以上です。この数値は 50cm² あたりのアセトアルデヒド除去量であり、この数値が高いほど室内のアセトアルデヒド濃度を低減させる効果が高くなります。^{*3} 光触媒工業会の認証基準はトルエン除去量 0.17 μ mol/h 以上です。この数値は 50cm² あたりのトルエン除去量であり、この数値が高いほど室内のトルエン濃度を低減させる効果が高くなります。^{*4} 光触媒工業会の認証基準は、NOx 除去量 0.50 μ mol 以上です。この数値は、自動車から発生する NOx の 10% を除去する効果が期待できます。この値は、面積が 50cm² 当たりで、紫外線を 5 時間照射した時に除去できる窒素酸化物の量であり、この値が大きいものほど除去効果は大きくなります。^{*5} 光触媒工業会の認証基準は抗菌活性が「2.0」以上、光照射による効果が「0.3」以上です。抗菌活性が「2.0」とは、抗菌効果により菌数が 1/100 に、T3.0」とは菌数が 1/1000 になることを表します。また、光照射による効果が「0.3」とは光を当てない条件の菌数に対し、光照射により菌数が約半分になることを表します。
* 光触媒工業会の表示ガイドラインを遵守して表示しています。